

名探偵アスパラガスと秘伝のソース

南成瀬小学校 六年

いわさわ
岩澤 しょうご
尚吾

昔々、ロンドンという大都市にどんな難事件も解決できる名探偵として知られるアスパラガスという男が住んでいました。ある日、ロンドンの街に不可解な事件が起きました。人々の大切なソースが次々と姿を消しているのです。

アスパラガスは事件の報告を受け、すぐにその場所へ向かいました。街の中心にある豪華なレストランで、貴重な秘伝のソースが盗まれていました。アスパラガスは冷静な観察力を駆使し、現場の証拠を調査しました。

彼はレストランの床に残された、にんじんでできたナイフに注目しました。どこかで見たことがあるような気がしました。アスパラガスは「ベジタブル」というメーカー名が刻まれたそのナイフを販売しているのはベジタブルストアだけだということに気付きました。次の日ベジタブルストアの防犯カメラを確認していると黒い服を着た肉厚ビーフがニンジンナイフを手に取りました。彼はくっひもを結び、入り口へと向かっていきました。肉厚ビーフの後を追っていくと、彼はロンドンの裏路地にある古い建物の中に入っていました。

アスパラガスはその建物に足を踏み入れ、狭い階段を上りました。すると、そこに肉厚ビーフの姿はなく、ほのかに肉汁のにおいがするだけでした。

アスパラガスは慎重に部屋を調査し、壁に仕掛けられた細い穴に気付きました。その穴を覗くと、下には隠された通路が広がっていました。彼はその通路を進み、やがて地下の洞窟にたどり着きました。そこには大量の鍋が積み重ねられているのが見えました。

アスパラガスは驚きながらも、突然現れた影に気付きました。肉厚ビーフと仲間たちが、アスパラガスを取り囲んでいました。そして奥から彼らのリーダーである怪盗和牛がゆっくりと出てきました。

アスパラガスは巧みな話術と分析力で、怪盗和牛たちに事件の真相を語りました。彼らは何年も前から自分達がおいしくなるためにソース泥棒を繰り返していました。けれどその裏には苦しい過去があることも判明しました。

アスパラガスは怪盗和牛たちの悲しい気持ちを理解しました。彼は街の人々と一緒に新しいソースをつくる方法を提案しました。そして、洞窟をきれいにして、新しい秘伝のソースをみんなで作ることにしました。

怪盗和牛たちは街の人々と友達になりました。アスパラガスのおかげで、事件は解決し、

市長賞

岩澤尚吾「名探偵アスパラガスと秘伝のソース」

市長賞
岩澤尚吾「名探偵アスパラガスと秘伝のソース」

新しい絆が築かれたのでした。

こうして、名探偵アスパラガスの知恵と優しさによって、ロンドンの街に平和が戻ったのです。

そして、それからというもの、アスパラガスの名前はより広く知れ渡ることになり、おいしい和牛のステーキのそばにはアスパラガスが添えられるようになったということです。もちろんみんなで作った秘伝のソースをかけて。

審査員講評 *****

アスパラガスの探偵、消えたソース、肉厚ビーフ、怪盗和牛など、じつにユニークな設定と言葉のチョイスに魅了されました。にんじんでできたナイフや、ほのかに漂う肉汁のにおいなど、細部にまでお話を盛り上げる工夫がこらさ
れていて、お見事です。今の現実世界につながる、そして
物語で語られてきたソースにうまく掛かった結末にも、う
なりました。

―― 田丸 雅智